科目名称	初等教育実習事前事後指導
授業コード	AI329
英語名称	A Guidance of Practice Teaching for Elementary Education
学期	2024年度通年（前・後）
単位	1.0
担当教員	前嶋 深雪, 園山 博, 大西 圭介
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	○初等教育実習は、大学でこれまでに学んできたことを実地に経験し、教師として必要な知識・技術・態度をより深く習得し、教育に関する理解を深め、教師として活躍できる素地をつくる場である。さらに、大学へ戻ってからの課題を確認し、真の教師を目指すために頑張ろうとする意欲を一層強くすることができる。この授業では、そのための準備と実習後のまとめをすることで、教師になるための努力を惜しまない態度と、基礎的な指導方法を育成することを目的とする。また、教育実習生としての責任の中身（児童に対する責任、実習校への責任、教員としての責任）についての覚悟を問う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	○教育現場での経験を持つ者が初等教育実習事前事後指導にたずさわることによって、学生には来たるべき教育実習をイメージすることができ、さまざまな刺激を受ける機会となっている。模擬授業を中心とした事前指導の中で語られる内容は学生に教育実習への期待を抱かせることにつながっている。また、教育実習後の事後指導においては、学生が教育実習の成果と課題をポイントをおさえてまとめることができるよう、教育現場での経験のある教員が中心となって指導する。
到達目標	○児童の前に立つための、言葉遣い、文字の書き方、指導方法の基礎を学び、実習意欲、実習態度を確立することができる。 ○教師の役割と責任の重さを自覚し、教育実習に臨む覚悟と知識・技術・態度を身に付けることができる。 これらを到達目標とすることにより、学科のディプロマポリシーに掲げる「豊かな教養と倫理観を身に付けること」をはじめとして、【知識・技能】【使命感・思考力】【人間力・指導力】【創造的な保育や教育】に関する資質・能力を有する教育者となることを目指す。
計画・内容	【事前指導】第3学年前期 第1回 イントロダクション（授業スケジュールと教育実習の目的・服务等）（前嶋・園山・大西） 第2回 授業づくりと教材やツールの活用（前嶋・園山・大西） 第3回 指導案作成（前嶋・園山・大西） 第4回 模擬授業の実施と授業研究 算数授業1（前嶋・園山・大西） 第5回 模擬授業の実施と授業研究 算数授業2（前嶋・園山・大西） 第6回 模擬授業の実施と授業研究 算数授業3（前嶋・園山・大西） 第7回 模擬授業の実施と授業研究 算数授業4（前嶋・園山・大西） 第8回 模擬授業の実施と授業研究 国語授業1（前嶋・園山・大西） 第9回 模擬授業の実施と授業研究 国語授業2（前嶋・園山・大西） 第10回 模擬授業の実施と授業研究 国語授業3（前嶋・園山・大西） 第11回 模擬授業の実施と授業研究 国語授業4（前嶋・園山・大西） 第12回 模擬授業ふりかえりと教育実習目標の設定（前嶋・園山・大西） 【事後指導】第3学年後期（初等教育実習終了後） 第13回 教育実習ふりかえり（前嶋・園山・大西） 第14回 教育実習ふりかえり課題まとめ（前嶋・園山・大西） 第15回 教育実習報告発表（前嶋・園山・大西）

計画・内容	
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習に参加するために必要な書類等の作成 ・教育実習に参加するための心構えをつくる ・教育実習に必要とされる専門性、実践的指導力の修得 以上のことを踏まえて、全体指導やグループ指導、個別指導を組み合わせることで授業を進める。
能動的な学びの実施	本授業では模擬授業を実施するほか、多くのグループワークが含まれ、グループを中心にディスカッション及びプレゼンテーションを行う。
授業時間外の学修	予習：指導案作成、模擬授業準備 復習：模擬授業の振り返り、日報の作成 以上のような内容で合計15時間程度の予習復習時間を確保すること。
教科書・参考書	文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）』 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説』 このほか、授業内で適宜紹介する。
成績評価方法と基準	【事前指導】 模擬授業（35%）、日報（20%）、模擬授業の成果と課題のまとめ（15%） 【事後指導】 教育実習報告会への取り組み（20%）、最終まとめレポート（10%）
課題等に対するフィードバック	【事前指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業に向けて、国語および算数の指導案については、教員が添削を行い返却する。 ・模擬授業や学生のまとめや振り返りに対し、授業内でフィードバック、コメントを行う。 【事後指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・学生が行う教育実習の振り返りや、プレゼンテーションに対し、授業内でフィードバック、コメントを行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照。
留意事項	【事前指導に関する留意点】 <ol style="list-style-type: none"> 1) 無断欠席は原則1回で実習中止となる。 2) 病気による欠席の場合は後日に医療機関の診断書等の提出が必要となる。 3) 連絡あった上での欠席は3回までが許容回数ですが、状況により実習中止となることがある。 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭一種免許状取得のための必修科目である。 ・1年次より提示している「初等教育実習事前指導の履修条件」を満たした学生のみが、本科目を履修することができる。 ・全15回の授業への積極的な参加を要する。無断欠席・無断遅刻をした場合や、課題や書類の未提出・提出遅れ、受講態度が不適切であった場合は、初等教育実習への参加資格を失うことがあるので留意する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 Zoomによるオンライン授業を実施する。 成績評価方法と基準 【事前指導】 模擬授業（35%）、日報（20%）、模擬授業の成果と課題のまとめ（15%） 【事後指導】 教育実習報告会への取り組み（20%）、最終まとめレポート（10%）

科目名称	初等教育実習事前事後指導
授業コード	AI329
英語名称	A Guidance of Practice Teaching for Elementary Education
学期	2024年度通年（前・後）
単位	1.0
担当教員	前嶋 深雪, 園山 博, 大西 圭介
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	○初等教育実習は、大学でこれまでに学んできたことを実地に経験し、教師として必要な知識・技術・態度をより深く習得し、教育に関する理解を深め、教師として活躍できる素地をつくる場である。さらに、大学へ戻ってからの課題を確認し、真の教師を目指すために頑張ろうとする意欲を一層強くすることができる。この授業では、そのための準備と実習後のまとめをすることで、教師になるための努力を惜しまない態度と、基礎的な指導方法を育成することを目的とする。また、教育実習生としての責任の中身（児童に対する責任、実習校への責任、教員としての責任）についての覚悟を問う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	○教育現場での経験を持つ者が初等教育実習事前事後指導にたずさわること、学生には来たるべき教育実習をイメージすることができ、さまざまな刺激を受ける機会となっている。模擬授業を中心とした事前指導の中で語られる内容は学生に教育実習への期待を抱かせることにつながっている。また、教育実習後の事後指導においては、学生が教育実習の成果と課題をポイントをおさえてまとめることができるよう、教育現場での経験のある教員が中心となって指導する。
到達目標	○児童の前に立つための、言葉遣い、文字の書き方、指導方法の基礎を学び、実習意欲、実習態度を確立することができる。 ○教師の役割と責任の重さを自覚し、教育実習に臨む覚悟と知識・技術・態度を身に付けることができる。 これらを到達目標とすることにより、学科のディプロマポリシーに掲げる「豊かな教養と倫理観を身に付けること」をはじめとして、【知識・技能】【使命感・思考力】【人間力・指導力】【創造的な保育や教育】に関する資質・能力を有する教育者となることを目指す。
計画・内容	【事前指導】第3学年前期 第1回 イントロダクション（授業スケジュールと教育実習の目的・服务等）（前嶋・園山・大西） 第2回 授業づくりと教材やツールの活用（前嶋・園山・大西） 第3回 指導案作成（前嶋・園山・大西） 第4回 模擬授業の実施と授業研究 算数授業1（前嶋・園山・大西） 第5回 模擬授業の実施と授業研究 算数授業2（前嶋・園山・大西） 第6回 模擬授業の実施と授業研究 算数授業3（前嶋・園山・大西） 第7回 模擬授業の実施と授業研究 算数授業4（前嶋・園山・大西） 第8回 模擬授業の実施と授業研究 国語授業1（前嶋・園山・大西） 第9回 模擬授業の実施と授業研究 国語授業2（前嶋・園山・大西） 第10回 模擬授業の実施と授業研究 国語授業3（前嶋・園山・大西） 第11回 模擬授業の実施と授業研究 国語授業4（前嶋・園山・大西） 第12回 模擬授業ふりかえりと教育実習目標の設定（前嶋・園山・大西） 【事後指導】第3学年後期（初等教育実習終了後） 第13回 教育実習ふりかえり（前嶋・園山・大西） 第14回 教育実習ふりかえり課題まとめ（前嶋・園山・大西） 第15回 教育実習報告発表（前嶋・園山・大西）

計画・内容	
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習に参加するために必要な書類等の作成 ・教育実習に参加するための心構えをつくる ・教育実習に必要とされる専門性、実践的指導力の修得 以上のことを踏まえて、全体指導やグループ指導、個別指導を組み合わせることで授業を進める。
能動的な学びの実施	本授業では模擬授業を実施するほか、多くのグループワークが含まれ、グループを中心にディスカッション及びプレゼンテーションを行う。
授業時間外の学修	予習：指導案作成、模擬授業準備 復習：模擬授業の振り返り、日報の作成 以上のような内容で合計15時間程度の予習復習時間を確保すること。
教科書・参考書	文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）』 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説』 このほか、授業内で適宜紹介する。
成績評価方法と基準	【事前指導】 模擬授業（35%）、日報（20%）、模擬授業の成果と課題のまとめ（15%） 【事後指導】 教育実習報告会への取り組み（20%）、最終まとめレポート（10%）
課題等に対するフィードバック	【事前指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業に向けて、国語および算数の指導案については、教員が添削を行い返却する。 ・模擬授業や学生のまとめや振り返りに対し、授業内でフィードバック、コメントを行う。 【事後指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・学生が行う教育実習の振り返りや、プレゼンテーションに対し、授業内でフィードバック、コメントを行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照。
留意事項	【事前指導に関する留意点】 <ol style="list-style-type: none"> 1) 無断欠席は原則1回で実習中止となる。 2) 病気による欠席の場合は後日に医療機関の診断書等の提出が必要となる。 3) 連絡あった上での欠席は3回までが許容回数ですが、状況により実習中止となることがある。 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭一種免許状取得のための必修科目である。 ・1年次より提示している「初等教育実習事前指導の履修条件」を満たした学生のみが、本科目を履修することができる。 ・全15回の授業への積極的な参加を要する。無断欠席・無断遅刻をした場合や、課題や書類の未提出・提出遅れ、受講態度が不適切であった場合は、初等教育実習への参加資格を失うことがあるので留意する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 Zoomによるオンライン授業を実施する。 成績評価方法と基準 【事前指導】 模擬授業（35%）、日報（20%）、模擬授業の成果と課題のまとめ（15%） 【事後指導】 教育実習報告会への取り組み（20%）、最終まとめレポート（10%）